

議会だより



第149号

にき

第4期佐藤町政に期待 更なる地域づくりに挑戦

contents

第2回

Town NTKI assembly

定例会

全員協議会

所管事務調査

投票管理者等の報酬を改正

町政のそこが聞きたい 一般質問 3人の議員が登壇

二キノチカラ 仁木町の持続的発展へ

小学校の英語教育の現状を知る

4

6

12

14

議会HPは
コチラから
Check!



町民スキー場に
屋外トイレ設置

371万円

町民スキー場の魅力を向上させ、冬期のレクリエーション施設、観光資源としてのポテンシャルを高めていくことを目的とし、清潔で快適な屋外仮設トイレを設置します。



フルーツパーク
修繕計画を策定

4103万円

農村公園フルーツパークにきの更新を視野に入れながら、これまでの調査検討結果を踏まえ、地域特性に配慮した再エネ導入モデル事業とすることを目的に、修繕基本計画を策定します。



町産りんご栽培
再構築を目指す

100万円

りんご生産王国仁木町の再構築を目指し、新たな栽培技術の導入も視野に入れた調査・研究を行うため、りんご生産の拡大・定着を目指す研究組織を設置します。



補正予算

◇一般会計(第2号)

一般会計補正予算は、空き家対策事業費、投票管理者等の基準の見直し、町内におけるりんご栽培の再構築事業費、農村公園フルーツパークにきの再構築に向けた再生可能エネルギーを活用した修繕基本計画策定費、町民スキー場魅力向上事業の増額補正が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

◇国保特別会計(第2号)

全員賛成で可決

◇後期医療特別会計(第2号)

全員賛成で可決

質疑あれこれ



佐藤 空き家対策事業として、家

財道具処分等支援助成金を計上しているが、この助成事業に至った経緯は何か。

企画課長 令和3年度に空き家に関するアンケート調査を実施し、その中で家財処分に関する支援を町にお願いしたいとの声があり、また、問合せが年に数件あることを鑑み、上限20万円の助成事業とした。

令和7年度各会計補正予算結果

補正額

予算総額

- ・一般会計(3回目の補正)
1億4951万4000円増 51億6547万6000円
- ・国民健康保険事業特別会計(2回目の補正)
34万1000円増 1億8719万円
- ・後期高齢者医療特別会計(2回目の補正)
33万円増 8471万2000円

令和7年
第2回定例会
6月19日

定例会のあらまし

第2回定例会は、6月19日に開会し、同日閉会しました。

町から、報告、補正予算、条例改正、計画策定、計画変更が上程され、全ての議案を可決しました。

また、議会提出議案として、選挙管理委員及び補充員の選挙、意見書を提出し、全て可決しました。

一般質問では、3人の議員が登壇し、町長に考えを問いました。



令和7年
第2回定例会
6月19日



投票管理者等の報酬を改正

条例改正

報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

主な改正内容は、国會議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の改正により、法律に定める国選執行時に市町村に交付する投票

管理者報酬等の基準額が増額になったことにより、投票管理者等の報酬を増額改定するものです。

投票管理者等の報酬比較

区 分	改正後	改正前
投票管理者	12,800円	11,300円
開票管理者	12,200円	10,800円
選挙長	12,200円	10,800円
投票立会人	10,900円	9,600円
開票立会人	10,100円	8,900円
選挙立会人	10,100円	8,900円

報 告

▼令和6年度仁木町繰越明許費繰越計算書の報告
地方自治法施行令第146条第2項に基づく報告

その他の議案

▼仁木町監査委員条例の一部改正
全員賛成で可決

全員賛成で可決

▼尾根内辺地に係る総合整備計画
全員賛成で可決

▼大江辺地に係る総合整備計画
全員賛成で可決

▼仁木町国民健康保険税条例の一部改正
全員賛成で可決

全員賛成で可決

▼銀山辺地に係る総合整備計画の変更
全員賛成で可決

全員賛成で可決



岩井教育長の教育行政報告

冷房設備設置工事の進捗状況

仁木小学校及び仁木中学校の冷房設備設置工事は、契約締結後の6月9日に請負業者とともに各学校の現場を確認し、請負業者は工事に必要な資材等の発注を行いました。

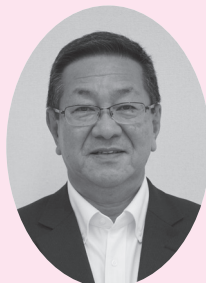
しかし、キューピクルなどの納品日が確定していなかったため、詳細なスケジュールをお知らせすることはできませんが、授業に支障のない夏季休業や冬季休業期間中に冷房設備設置工事を実施することで検討しているところであります。

なお、稼働時期等の詳細スケジュールが決まりしだい、ホームページや広報紙などを通して児童・生徒及び保護者の皆さまにお知らせいたします。

新体制でスタート

◆選挙管理委員

菅 敦 さん
(銀山)



新 藤 勲 さん
(東町)



本 間 美津雄 さん
(銀山)



大 原 知恵美 さん
(大江)



選挙管理委員・補充員を選挙

令和7年6月27日に任期満了となる仁木町選挙管理委員及び補充員の選挙を行い、それぞれ4人の方が指名推選により当選しました。

◆選挙管理委員補充員

第1順位 兼 重 隆 幸 さん
(大江)

第2順位 滝 上 馨 さん
(西町)

第3順位 中 村 弥 生 さん
(東町)

第4順位 山 本 幸 子 さん
(北町)

意見書

▼ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業木材産業施策の充実・強化を求める意見書

提出議員 野崎 明廣
賛成議員 宮本 幹夫

ゼロカーボン北海道の実現に資する森林等施策の充実・強化が必要であることから、伐採後の植林、適切な間伐、路網整備及び防災・減災対策予算の確保、ICT等を活用したスマート林業の推進、木材加工・流通体制の強化、建築物の木造・木質化や木質バイオマスの熱利用の促進等による道産木材の需要拡大、外国人材も含めた森林づくりを担う多様な人材の育成・確保等に必要な支援の充実・強化を要望するもので、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**し、関係機関に提出しました。



佐藤町長の行政報告

仁木町ゼロカーボンシティを宣言

2015年に採択されたパリ協定では、世界全体の平均気温の上昇を1・5℃に抑える努力を追求することが長期目標として掲げられ、目標の達成には、2050年度までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする必要があります。

我が国では2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言し、北海道でも、ゼロカーボン北海道の実現に向けた取組を推進しております。

本町においては、今後も環境行政を着実に推進し、町・町民・事業者が協力し合い、環境への負荷が少ない資源循環型社会の実現、省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの活用など自然との共生を図り、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すことをここに宣言いたします。

今後も引き続き、環境行政に対する皆様の理解促進に努め、引き続き取り組んでまいります。

ふるさと納税 過去最高の寄附額

本町の令和6年度ふるさと納税寄附金は、5億5351万3100円(前年度比1億5761万6600円増)と、初めて5億円を上回る過去最高の寄附金額となりました。

引き続きプロモーション活動や新たな返礼品の開発に取り組み、財源の確保や本町のファン獲得に努めてまいります。

一般質問

第2回定例会の一般質問には、3人の議員が登壇しました。
紙面の都合により、内容を要約してお知らせします。



さとう ひでのり
佐藤 秀教 議員

人口減少に伴う持続可能な地域づくりの施策は

7



のざき あきひろ
野崎 明廣 議員

小学生の登下校における安全対策は

8



うえむら ちえこ
上村智恵子 議員

小中学生の子育て支援の更なる拡充を
JR仁木駅周辺の再整備について

9

町政のそこが聞きたい

こキボ-のなになに？

一般質問とは



一般質問とは、議員が町政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について所信をただし、あるいは報告、説明を求め、又は疑問をただすことです。

一般質問の詳しい
内容はコチラから

Check!

(第2回定例会)



合葬墓、アンケート結果の見解は

町長 実現に向けて進めていきたい



さとう ひでのり
佐藤 秀教 議員

問

若松団地跡地の宅地分譲は、令和3年度に用地確定測量を実施し、それ以降全く進んでいない状況に思える。今後、更にみずほ団地の残地部分の分譲計画もあるようだが、できるのか。これらの計画を円滑に進めるためには、横断的に体制を整えて分譲までのスケジュールをしっかりと構築していかなければならないと思うが、町長の見解は。

町長

若松団地跡地は、町が定住移住政策を進める上で、モデルとなるような、そんな住宅環境の発信地として活用したい思いがあり、今後、検討チームを設け、みずほ団地の有効活用も含めて、整備に向けて取組を進める。

問

効果的な人口対策が見当たらない中、労働者や地域の担い手として期待される外国人材を確保するために自治体が果たす役割は。

町長

現在、本町で労働されているベトナム、インドネシア、フィリピンを中心とした東南アジアの外国人

町長

材が本町での生活を選択していただくことが大切であり、優秀な外国人材を確保すべく特定技能2号資格の取得をサポートする体制を整備することや外国人材を含めた労働者の住環境を整備するため、受入側に対する支援を行う必要があると考えている。

問

北海道横断自動車道（後志道）仁木IC開通に伴う農村公園フルーツパークにき再構築事業の具体的な取組は。

町長

今年度は令和5年度に策定した基本構想を土台に、国や北海道と協議しながら基本計画を策定し、併

せて指定管理者の選定を行う。

来年度は、基本設計及び実施設計を行い、令和9年度、10年度の2か年にわたる改修工事を行い、令和11年度にリニューアルオープンを予定している。

問

合葬墓の設置について、アンケート調査の結果いかに聞わ

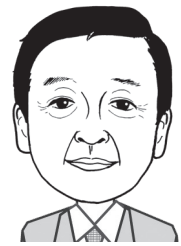
ず設置するという理解でよいか。

町長

合葬墓の設置は、総合計画にも記載しており、アンケート調査結果も踏まえて色々な意見を聞いた上で、実現に向けて進めていきたい。



町営仁木墓地



のざき あきひろ
野崎 明廣 議員

小学校低学年の通学支援を

教育長 検討はしたいと思うが、現状維持で

問 小学校1・2年生の徒歩通学に安全対策を講じているのか。

教育長 学校周辺の通学路において、道路の安全確認や道路の横断の仕方などの講習会を実施したり、通学路安全推進委員会を開催し、要望も含め、学校からの情報だけではなく、保護者や交通安全推進員などから寄せられる情報について、現地確認し、登下校時の安全対策を実施している。

問 小学校1・2年生は、下校時に一人で帰宅する児童が多くないと考えるが、何か対策を講じているのか。

教育長 新1年生は午前授業の時もあるので、教職員が一緒になって下校を見守っている。また、4月には交通安全教室を開催している。

問 自家用車で送迎している保護者に対し、何か支援はしているのか。

教育長 自家用車で送迎している方に対する支援は行っていない。

ただし、公共交通機関を利用し、小学生で片道4 km以上、中学生で片道6 km以上の距離から通学する児童・生徒の保護者に対し、通学定期代の3分の2を補助している。

問 安全対策において、横断歩道の設置、信号機の設置を考えなければならぬ箇所が見受けられるのか。

教育長 4月に開催された交通安全推進委員会の会議において、高速道路の開通に伴い、町道1番線に横断歩道の設置が必要ではないかとの意見が出



小学生の交通安全教室

されたと聞いている。通学路安全推進委員会で、今後どのような対策ができるか協議したいと考えている。

教育長 横断歩道について

は、公安委員会において設置の要否を判断することとなり、教育委員会としては要望していきたいと考えている。

問 町独自として、小学校低学年に対し、通学距離を2 km基準として、通学補助の支援等を考えていただきたい。

教育長 低学年の児童のほ

とんどが放課後児童クラブを利用していることもあり、保護者の方が迎えに來ている現状もあるので、検討はしたいと思うが、今のところ現状維持のままで進めていきたい。

小中学生の子育て支援の更なる拡充を

教育長 これ以上、拡充する予定はない



うえむら ちえこ
上村智恵子 議員

教育長

要保護・
準要保護

認定世帯に関わらず、学校給食費をはじめ、通学費補助や授業で使用する消耗品、災害共済給付掛

問

本来、全ての就学している児童・生徒の保護者に対し、要保護・準要保護世帯への就学援助の対象として掲げられている費目は無償化すべきと考えるが、町の見解は。

問

金も町が一部負担している。また、中体連や中文連への参加費用や修学旅行時の空港までのバス代も町で負担していることから、一般世帯に対してこれ以上、拡充する予定はない。

教育次長

本町における要保

護・準要保護認定世帯は、保護者の負担なく修学旅行に参加できる。

国の制度によると、就学援助（修学旅行費）の規定で、小学校2万2690円、中学校6万910円となっているが、その差額は町で負担しているのか。

公衆トイレの洋式化を

町長 更新計画に基づき対応する



J R 仁木駅横のやすらぎの里トイレ

問

J R 仁木駅周辺の再整備について、

- ① 自転車置場の屋根設置、
- ② 公衆トイレの洋式化、
- ③ 水遊び場の設置、
- ④ 電動アシスト付自転車の取入れに対する考えは。

町長

①今のところ設置する考えはない。②令和14年度に更新を計画している。③維持管理経費や衛生管理等多くの課題があり、設置する考えはない。④運営体制や経費負担、安全性の確保等、多くの課題があるものと認識している。

問

健康志向でくだもの狩りに訪れ、自転車を使つてのんびりとした農村風景を感じて、ゆったり観光をする方もいるかと思う。余市川の河川敷をサイクリングしたり、環境に優しい観光に取り組んでいただきたい。

町長

観光協会が主体となつて、こういったアイデアを町とともに連携しながら、理想の観光地域づくりに向けた体制ができればと私自身認識をしている。



フルーツパークにき

給水設備を修繕

補正予算

▼令和6年度会計予算

◇一般会計（専決第2号）

一般会計補正予算は、自治体情報システムの標準化・共通化に係るシステム改修等による増額補正等が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で承認**しました。

◇国保特別会計（専決第1号）

全員賛成で承認

◇後期医療特別会計（専決第1号）

全員賛成で承認

令和6年度各会計補正予算結果

補正額

予算総額

- ・一般会計（8回目の補正）
4202万2000円 増 51億7506万8000円
- ・国民健康保険事業特別会計（6回目の補正）
247万2000円 減 2億514万5000円
- ・後期高齢者医療特別会計（5回目の補正）
31万8000円 減 8336万4000円

令和7年度各会計補正予算結果

補正額

予算総額

- ・一般会計（1回目の補正）
165万8000円 増 50億674万9000円
- ・一般会計（2回目の補正）
921万3000円 増 50億1596万2000円
- ・国民健康保険事業特別会計（1回目の補正）
17万2000円 増 1億8684万9000円
- ・後期高齢者医療特別会計（1回目の補正）
10万6000円 増 8438万2000円

▼令和7年度会計予算

◇一般会計（専決第1号）

一般会計補正予算は、フルーツパークにき水道ポンプ等給水設備の故障に伴う修繕費の増額補正が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で承認**しました。

◇一般会計（第1号）

一般会計補正予算は、共済費負担率等の変更並びに4月及び6月の人事異動に伴う人件費の増額補正が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

◇国保特別会計（第1号）

全員賛成で可決

◇後期医療特別会計（第1号）

全員賛成で可決

令和7年 第2回臨時会

5月29日

臨時会のあらまし

第2回臨時会は、5月29日に開会し、同日閉会しました。

町から、補正予算、条例改正、契約締結が上程され、全ての議案を承認・可決しました。



条例改正

◇仁木町税条例（専決第1号）

仁木町税条例は、地方税法及び地方税法等の一部を改正する法律の一部を改正する法律（令和7年法律第7号）が本年3月31日に公布されたこと

に伴う条例改正が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で承認**しました。

主な改正内容は、町民

税の19歳以上23歳未満の扶養親族に係る特定親族特別控除の創設、軽自動車税の二輪車の車両区分の見直しに伴う税率区分の変更等です。



契約締結

◇町道改良工事

町道仁小中線改良工事請負契約の締結が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

契約の相手方

和田建設工業(株)

契約金額

5170万円

◇普通河川護岸工事

普通河川マカナイ川護岸工事請負契約の締結が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

契約の相手方

(株)小田組

契約金額

7315万円

◇冷房設備設置工事

仁木町小中学校冷房設備設置工事請負契約の締結が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

契約の相手方

(株)堀川管工設備工業

契約金額

7689万円



佐藤町長の所信表明

これまでつくり上げてきた施策の効果を更に向上させることができるよう、必要な見直しを繰り返しながら深化・拡充し、4期目においては、3つを基本政策として、新たな種をまき、これからの4年間でしっかりと芽を出させて花を咲かせるためのまちづくりを推進してまいります。

1 仁木愛（にぎあい）あふれる地域づくり

住環境や街並みを整備し、仁木町の特徴を活かした環境整備

子育て支援機能が一体化したi k o r（仁木町すこやか子育て支援センター）の設置、学校給食や高校生世代までの医療費の無償化など、子育て支援の取組により町外からの移住者が増加し住居等の不足が深刻となつていくことから、町内での雇用や定住者向けのアパート建設支援の拡充、空き家の利用や流通を促進する事業の創設、遊休町有地を活用した住宅用地の供給についての検討を開始いたします。

2 持続可能な地域・観光づくり

暮らしの充実と魅力的な観光地域の形成

高速道路の開通に伴う札幌市や新千歳空港からのアクセスの向上やワイナリーの集積などにより、観光拠点としての機能が高まる中、老朽・狭隘化している農村公園フルツパークにきの施設の修繕に取り組むほか、民間提案制度を活用し、再生可能エネルギーの活用をはじめ、仁木町の特色を活かした魅力ある観光拠点として、エネルギー構造高度化転換理解促進事業を活用した上で再構築を進めます。

3 力強い産業づくり

次代を見据えた産業構造の強化

農業を仁木町の発展を牽引する基幹産業と位置づけ、引き続き、新規就農者の育成確保対策、ワイン分野を含む農業の振興に努めてまいります。

2030年度末を目指していた北海道新幹線の札幌延伸は、工事の遅延により開業時期が延期されることになりました。これに伴い、JR北海道から経営分離される函館線（函館・小樽間）につきましても、当面は存続していくこととなりますが、引き続き、持続可能な安定した交通の確保を第一に、今後も強い決意をもって対応してまいります。

ニキノチカラ 仁木町の持続的発展へ

仁木の地から
仁木の力

令和7年6月2日に全員協議会を開催し、令和7年度政策事業等の実施に関する件について、説明を受けました。

●主な新規政策事業

仁木IC開通

観光モデル構築

予算額 132万円

町内観光を含めた現状把握、後志自動車道延伸に伴う人流動向とその変化を可視化し、効果的な観光施策や事業立案及び効果検証を行います。

空き家対策

家財道具処分支援

予算額 100万円

空き家内の家財道具の処分費を補助することにより、空き家の利活用の促進を図ることで売却・賃貸を促し、定住人口の増加を促進します。

フルーツパーク再エネ・

省エネ修繕基本計画策定

予算額 4103万円

農村公園フルーツパークにきの更新を視野に入れ、具体的な再エネ導入

量や再エネ設備の検討、果樹産業・豪雪地帯・狹隘な土地に配慮した再エネ・省エネ修繕基本計画を策定します。



ワイン樽を使用したウェルカムボード（仁木IC）



令和7年度の当初予算は、町長の改選期であったため、政策的な判断が必要な予算を除いた骨格予算で編成されました。今回の全員協議会は、佐藤町長が再選されたことに伴い、当初予算で計上されなかった政策予算の概要について、町から説明がありました。

なお、全員協議会で説明を受けた政策予算は、6月19日開催の第2回定例会において、補正予算として提案され、審議・採決の結果、全員賛成で可決しました。



住民向けLINE

ポータル導入

予算額 162万円

LINEを使用した効率的な行政情報の収集、簡単に行政サービスの検索・申請・予約等ができる仕組みを構築します。

りんご産地再構築

予算額 102万円

りんご生産王国仁木町の再構築を目指し、新たな栽培技術の導入も視野に入れた調査・研究を実施するため、りんご生産の拡大・定着を目指す研究組織を設置します。

仁木町民スキー場

魅力向上

予算額 371万円

12月に予定している町民スキー場のリニューアルオープンを契機とし、営業期間において、清潔で快適な屋外仮設トイレをコンサドーレ仁木パーク・パークゴルフ場駐車場に設置します。

スポットビジョン

スクリーナー導入

予算額 173万円

幼児の視機能発達の障害要因である弱視や屈折異常の早期発見・早期治療が重要であるため、スポットビジョンスクリーナー（視覚検査機器）を導入します。



質疑あれこれ

Q 町民スキー場のロッジについて、ふれあい遊トピア公園パークゴルフ場の受付を使用することだが、既設のロッジ等は使用しない運用になるのか。

A 既設のロッジは高台に面していて、見通しがききやすいので、スキー場スタッフ用として使用する考えである。

●主な拡充

継続政策事業

▼定住促進共同住宅建設費補助

予算額 3000万円

▼地域公共交通整備及び各種Maas検討

予算額 2546万円

▼ぬくもり灯油助成

予算額 173万円

▼町民の理解浸透に向けた仁木町エネルギー転換理解促進

予算額 4697万円

▼不妊治療費等助成

予算額 7万円

▼銀山コミュニティ拠点施設建設（今年度は予算計上なし）

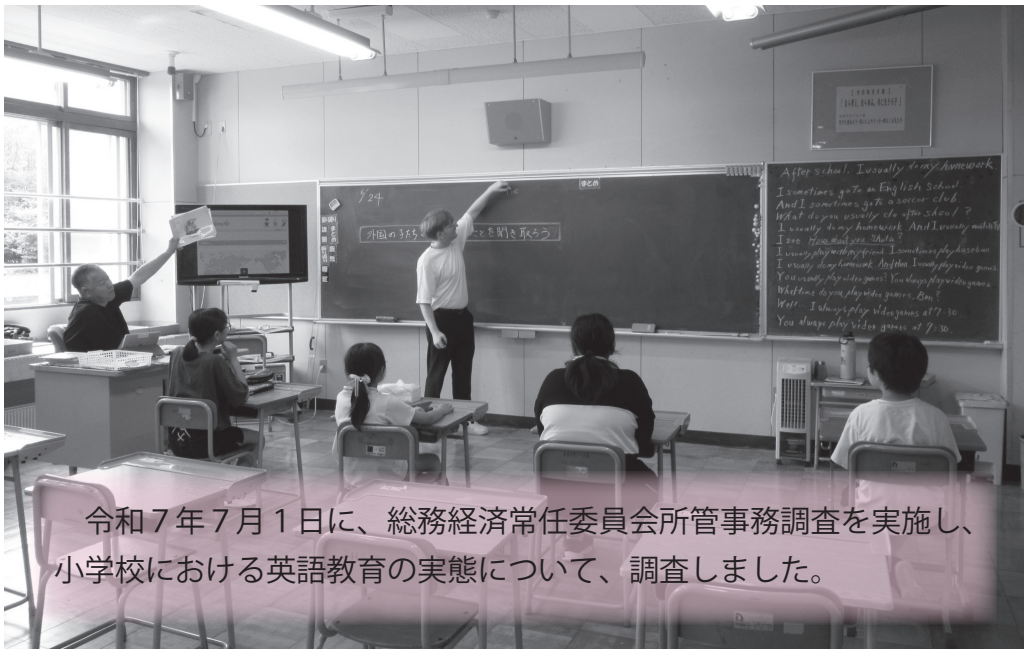
Q これまでスキー場リフト券の交付事業において、小学校1年生を対象にリフト券を配布し、無料で利用できたと思うが、今年度予算計上していない理由は何か。

A スキー場リニューアルオープンをイベントPRの取組みと位置づけし、指定管理者であるコンサドーレ・まちのミライコンソーシアムが自主事業として町内の小中学生にリフト券を配布する予定と聞いているため、予算を計上していない。

A 令和6年度に交通空白解消等リ・デザイン全面展開プロジェクトが開始され、交通空白のある地域に対し、デマンドバスに対する補助金が創設されたことから、観光利用や交通空白地域である東町・南町地区と旭台・砥の川地区に次年度からデマンドバスを運行できないか検討中である。

常任委員会 事務調査

小学校の英語教育の現状を知る



令和7年7月1日に、総務経済常任委員会所管事務調査を実施し、小学校における英語教育の実態について、調査しました。

小学校における英語教育は、文部科学省が定める**学習指導要領**に則り実施しています。

平成20年3月、外国語教育の充実を図るため、学習指導要領を改訂し、平成23年度の導入に向けて、小学校5年生及び6年生に聞くことや話すことを中心とした外国語活動を年間35時数実施することが位置づけられ、平成23年4月に小学校5年生及び6年生の外国語の授業が開始されました。

平成29年3月、教育課程の示し方の改善、外国語教育等教育内容の充実、学習・指導の改善充実や教育環境の充実等が示されたことから、小学校3年生及び4年生は年間35時数の外国語活動を、5年生及び6年生は外国語科目として年間70時数実

施することが位置づけられ、令和2年4月から小学校3年生及び4年生の外国語活動、5年生及び6年生の外国語科の授業が全面实施されました。本町の小学校においては、小学校と中学校が連携して、中学校の英語教員が小学校の授業に入る乗り入れ授業の実施や外国語指導助手（ALT）によるネイティブな英語を交えた授業を展開しています。

ニキボーのなにに？

学習指導要領とは

全国どここの学校でも一定の水準が保てるよう、文部科学省が定めている教育課程（カリキュラム）の基準です。



質疑あれこれ

Q 子どもたちが楽しく英語を学べる環境を確立すべきと考えるが、教育委員会としてどう考えているのか。

A 教育委員会としても楽しく英語学習ができる環境を確立すべきと考えるが、英語学習に対する子どもたちの感じ方がさまざまであることから難しいところもあるうかと考える。

しかし、子どもたちが英語を学べる環境の整備の必要性は感じている。

Q 小学3・4年生は、外国語活動として、外国語による聞くこと・話すことの言語活動を通してコミュニケーションの素

地となる資質・能力を育成することを取組の内容としているが、実際にどういう授業を実施しているのか。

A 小学3・4年生は、文部科学省の指定した教材を使用して授業を実施しており、小学3年生は挨拶の英会話から始めている。

Q 以前は外国語指導助手（ALT）による英会話教室を開催していたと思うが、今後再開する予定はあるのか。

A 現在着任しているALTは7月末までで、8月から新しいALTが着任することから、日本語をどのくらい話せるかを見極めてから再開を判断したいと考えている。

北海道町村議会議員研修会

人口減少社会における

地方議会の役割を学ぶ



7月8日、札幌コンベンションセンター（札幌市）において開催された、北海道町村議会議員研修会に参加してきました。

当日は、『地方議会における議員の多彩化に向けて、地域社会の鏡としての議会を考える』と題して、西南学院大学法学部教授 勢一智子氏の講演、『人口減少社会を生き抜くために』と題して、人口戦略会議副議長 増田寛也氏の講演をそれぞれ拝聴しました。

「より多くの人が議員になるために、多様な経験をした多様な世代が多様に参画する議会となるよう、供給源である社会全体の変革が求められている」との言葉に、地方議会の役割を改めて学びました。

また、講演以外にも、開始前や休憩時間には道内町村の議員と意見交換するなど、有意義な時間となりました。

後志町村議会議員研修会

地域における日頃からの

活動・助け合いが大切



7月14日、ルスツリゾート＆コンベンション（留寿都村）において開催された、後志町村議会議員研修会に参加してきました。

当日は、『災害とその対応・対策について』と題して、後志総合振興局長 瀧川雅晴氏の講演、『ストーリーあるプロデューサー、北海道における人づくり、モノづくり、地域づくり』と題して、株式会社クリエイティブオフィスキュー代表取締役・プロデューサー 伊藤

亜由美氏の講演をそれぞれ拝聴しました。

瀧川局長の「後志管内は比較的災害が少ない地域ではあるが、災害から身を守るためには、行政による公助の取組と連携し、自分の身は自分で助ける自助や近所の人等と助け合う共助の取組を進めることが大切である」との言葉に、改めて地域防災力の重要性を学びました。



◎ 普段の生活の中で、町に要望したいことはありますか。

LINEで子育て情報を配信してもらえると嬉しいです。子育てや仕事のスキマ時間に見ることが出来ます。また、保育園に屋外遊具が少ないので、より充実していただけたら嬉しいですね。

健康面を考えると、子どもから大人まで利用できるフィットネスジムがあれば良いと思います。集いの場にもなりますし、最近では外国人が増えているので、日本語を学べる場になる可能性もあり、コミュニティ



FARM TO PEEL
(ファームトゥピール)
Instagram @farm_to_peel

(取材・インタビュー) 木村 章生

◎ 仁木町の子育て環境はどうですか。

とても良いと思います。自然の中で子育てができるし、何より平和だと感じます。カナダでは、安全のためにスクールバスで通学しますが、歩いて通学できる環境に感動しています。

カナダから仁木町に移住されたシン普森さん。静かできれいで平和な仁木町はとても暮らしやすいとのこと。

奥様は仁木町出身で、奥様のご実家で自ら野菜を育て、その野菜を具材にしているので、生産者が見える本格的なピザを味わうことができます。

お店にはキッズスペースもあるとのこと！

笑顔が素敵なファミリーが作る本格ピザをぜひご賞味ください。

連載39回目は、北町在住のシン普森さんファミリーを紹介します。奥様とお子さんの3人家族です。ご主人はカナダ出身のシェフで、本格ピザ店を営んでいます。



ピースフルで住みやすい町 ピーター シン普森さん (北町)

ニケーション能力を磨くことができるとしています。

◎ お子さんに対してメッセージを！

自然の中でのびのびと元気に育ってほしいです。

次の議会は 9月 定例会 (9月下旬開催予定)

- ◆編集・発行責任者
議長 横関 一雄
- ◆議会広報編集特別委員会
委員長 嶋田 茂
副委員長 佐藤 秀教
委員 前田 春奈
山内 健生
木村 章生
野崎 明廣
宮本 幹夫
上村 智恵子

寄付行為の禁止

議員は、選挙区内の方にお金や物を贈ることは、法律で禁止されています。また、有権者が求めてもいません。ご理解をお願いします。

つながりを大切に仁木町を楽しむ



MOUNT NIKI (マウントニキ)
Instagram @mount_niki



夏季はキャンプ場がメインとなり、丘の上カーサイト、カーサイト、ウッドデッキサイト、手ぶらキャンプサイト、ソロ&ライダーサイト、ドッグランサイト&グループサイトなどがあり、さまざまなサイトが充実しています。冬季はウインターアクティビティがメインとなり、スノーモービルやバナナボート、雪板でパウダースノーを堪能することができます。

「大江地区の皆さんはとても温かく、人のつながりに感謝している」とおっしゃる秋田さん。大江地区が大好きで、大江地区の方々と親交も深く、とても楽しいとのこと。

毎週土曜日に販売する「氷処 THE ROCK」のかき氷は、秋田さん自ら研究した大人気の商品。ふわふわで頭がキーンとなりにくく、暑い夏におすすめです。

(取材・記事) 嶋田 茂

特約町民を紹介！



MOUNT NIKI (マウントニキ)
CEO 秋田 浩征さん

札幌出身の秋田さんは、アウトドアフィールドをオープンしたいと思い、赤井川村で土地を探していたときに、たまたま声をかけた方に紹介してもらったのが、仁木町大江の広大な土地でした。

令和5年9月のプレオープンを経て、令和6年6月1日に念願のキャンプ&アウトドアフィールドをオープンしました。

